

<RYLAセミナーに参加して：東漸寺幼稚園：正岡綾香様>

この度は、貴重な研修に参加させていただき、ありがとうございました。

この研修については、過去の研修に参加した職員から話を聞くのみでしたので、どのようにウォークラリーを行っていくのか、その他にどのような研修があるのかと、正直不安要素がほとんどでした。しかし、現地に着き、皆さんと顔を合わせてみると、年齢や性別、住んでいる場所も違って、当初の不安よりも二日間どんな風に過ごせるだろうという期待の方が大きくなっていました。



チームの方々も異年齢(中学2年生、高校2年生、19歳大学生、25歳会社員、46歳男性、私の6人)でしたので、初めは全く会話がなくて、初めて行うウォークラリーについて説明文を読んで模造紙にまとめるという作業も思うように進みませんでした。時間が経つにつれ、コミュニケーションがとれるようになり、その後の作業は皆で楽しく行えるようになりました。

そしてウォークラリー。私は高校生の男の子とペアだったのですが、コマ図を見ながら進んでいたはずが、いつのまにか自分達が何番のコマ図に居るのか分からなくなり、(正しいのかは微妙ですが...)途中からは勘に頼って進んでいきました。このコマ図からは、今回の目的でもあった“先入観をなくす”という事を学びました。

ex：コマ図の線の長さ=距離ではない！

手前から1→2→3と勝手に想像していたが、実際は1→3→2のように若い数字の方が道の奥にあったことも数回ありました。

そして、迷ったら原点や1つ前の段階に立ち戻る大切さにも気付く事が出来ました。

一日目、完璧に進めた訳ではありませんでしたが、全体の二位を取る事も出来、初めてのウォークラリーでしたが、とても充実していました。二日目は、一日目の反省を活かし、コマ図通りに進み、迷った時には分かっていたコマ図まで戻る、という事を忠実に行いましたが、反対方向に進んだために時間のロスが発生し、順位が落ちてしまいましたが、普段あまり関わる事のない高校生と時間を共有することで、学生の頃の気持ちを思い出しながら探検のような気持ちで楽しく歩く事が出来たので良かったです。

今回の研修に参加し、一番に思ったことが“人と人の繋がりやすさ”です。先述したように、年齢や性別等が異なる方が多いにも関わらず、たった二日間で仲良くなれるのは人の素晴らしい所ではないかと思えます。二日間、普段あまり関わる事のない年下の方や、職業の違う年上の方と出逢え、今後も仲良くしていきたいと思える多くの友人が出来たことをとても嬉しく思っています。

そして、今回チームリーダーをやらせて頂きましたが、普段とは違って先頭に行くことを経験し、リーダーとして皆をまとめる難しさや、先頭を切って発案する事の難しさを改めて実感したと同時に、微力な自分を支えてくれて、着いてきてくれる人が居てこそ、リーダーという存在が確立するのだと感じることが出来ました。

この研修を通し、多くの事を学び、多くの友人が出来、多くの事を考え感じる事が出来ました。これも研修に参加させて下さった松戸北ロータリークラブの皆様を始め、主催者の皆様、参加者の皆様のおかげです。深く御礼申し上げます。

そして、今回の経験や思い、学んだ事を今後の人生にも活かしていき、周りの人から頼られる良きリーダーとなれる日が来るよう、日々努力していきたいと思えます。

<ニコニコ委員会：小林弘委員長>

高橋 清会員：先週は風邪のため欠席申し訳ありませんでした。又、妻の誕生祝いをいただきお礼申し上げます。



国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2003回 例会 2014年3月11日(火)

- 国際ロータリー会長      ロンD. パートン      ■例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー      関口 徳雄      ■例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」
- 第12分区ガバナー補佐      渡辺 敏弘      ■事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイツ101
- 松戸北ロータリークラブ会長      児山 守治      ■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事      平田 洋一      ■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

# WEEKLY REPORT

## <第2003回：例会プログラム>

12:30	点鐘 ロータリーソング斉唱 【♪我等の生業】	児山守治会長
12:33	お客様紹介	崎谷延好会長
12:35	会食	
13:00	例会再開 会長挨拶・報告 幹事報告	児山守治会長 平田洋一幹事
13:10	青少年奉仕委員会 「RYLAセミナー」参加の報告 千葉興業銀行小金支店 東漸寺幼稚園	正司進副委員長 白井一平 様 正岡綾香 様
13:25	【委員会報告】 ■社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表 ■ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	高崎卓哉委員長 小林弘委員長
13:30	点鐘	児山守治会長



### ウォークラリー



## <会長挨拶：児山守治会長>

皆さん こんにちは。  
 今日北風が寒いですが、風邪をひかないように気をつけましょう。  
 今日3月11日です。東日本大震災で犠牲になられた方の為に黙祷をしましょう。  
 今日で3年が経過しますが、震災を風化しないようにして行きたいと願っております。当クラブでも東日本大震災特別委員会を設立し、社会奉仕委員会と協力して情報を収集し、支援活動をして行きたいと思っています。被災された方々は、住まい、職業、健康面等、まだまだ立ち直っていません。北クラブでも継続して支援活動を行ってまいります。  
 本日はRYLAセミナーに参加された方からの報告があります。きっかけは上司からの業務命令だったかも知れませんが、これからの人生において、参考になることがあれば幸いです。RYLAセミナーに参加いただき真にありがとうございました。本日の挨拶とさせていただきます。



お客様：松戸東RC山本忠明様



### ■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

# WEEKLY REPORT

## <幹事挨拶：平田洋一幹事>

3年前の震災では、当社の販売部の社員の帰りが全員翌日になり、私も寝ないで全員の帰りを待ってましたが、最後の社員は午前8時半になりました。  
 これから大きな地震があると言われてます。その時何処にいるかで運命が決まってしまうかもしれませんが注意しようもないのが現状かと思えます。その時に困らないような準備はしておきましょう。



## <委員会報告：青少年奉仕委員会：正司進副委員長>

2月22日～23日RYLAセミナーに青少年の参加者2名と行ってまいりました。  
 歩行ラリー：RALLYとは再び集まるという意味で、自動車のサファリ・ラリーやモンテカルロ・ラリーは有名です。悪路や雪の道を昼夜走り回り、運転技術や自動車の性能を競います。このラリーの形式をそのままに、自動車を使わずに自分の足で歩くのが歩行ラリーです。ある地点をスタートし、野山を歩き回り、再び元の地点に戻ってくるスポーツで、頭と心と身体を一緒に使うチームワークが必要なゲームです。引率だけかと思っていたら、一緒に参加することになって、ずいぶん歩き回され大変でした…。しかし、私もですが、参加してくれたお二人にとっても、いい経験になったと思います。今日は参加報告をしてもらうことになっています、どうぞよろしくお願い致します。



## <RYLAセミナーに参加して：千葉興業銀行北小金支店：白井一平様>

この度はRYLAセミナーに参加させて頂きありがとうございました。2日間の研修で、ロータリアンの皆様と協力し、こま切れの地図を頼りにゴールを目指す、ウォークラリーというものを経験いたしました。ウォークラリーでは、ロータリアンの方々と、年も職業も違う参加者の方々と協力し、一つの目標に対し、どうしたらうまくいくかを話し合う中で、目標は同じであっても、考え方や視点は人それぞれ違い、その違いに気付くことが大切だと学ぶことができました。



ウォークラリーの最中には、道を間違えてしまい、自分がどこにいるのかわからなくなってしまったことも何度もありましたが、そんな時は一度、振り出しに戻って考えてみるという様な事がありました。間違いを認めて、来た道に戻ると言うことは、非常につらく大変でしたが、同じグループのロータリアンの方に、ウォークラリーだけでなく、仕事であっても同じだよ、と話して頂き、自分自身と照らしあわせ、大変勉強になると感じました。

また、研修中も懇親会の席でも、親切なロータリアンの方々に気にかけて頂き、普段中々お会いできないロータリアンの方々と親交を深める事が出来ました。参加していた青少年側の人たちとも交流し、相談できる社会人の先輩ができたことも良かったと思います。

2日間の研修で約15kmほど歩き、家に着くころには、膝がガクガクになってしまいましたが、代わりに、多くの友人先輩、ロータリアンの方々と交流でき、ウォークラリーではたくさんのお話を学ぶ事が出来ました。

この度は、このような貴重な経験ができる場を設けて頂き本当にありがとうございました。